

◆ Edited & Published by: JICA Okinawa Library (JICA 沖縄図書資料室)

〒901-2552 沖縄県浦添市字前田 1143-1

TEL 098-876-6000(代表)

URL <https://www.jica.go.jp/okinawa/>

◆ Book Search 蔵書検索

<https://libportal.jica.go.jp/library/OICBooks/detailssearch.php>

(JICA 沖縄ホームページ→ 図書資料室 → JICA 沖縄図書資料室 蔵書検索)



JICA Okinawa Library

世界遺産から考える、もうひとつの歴史—ダークツーリズムという視点—

The Other History Behind World Heritage — A Dark Tourism Perspective

私たちが「世界遺産」と聞いて思い浮かべるのは、美しい自然や壮麗な建造物かもしれません。しかし世界遺産の中には、奴隷貿易、植民地支配、人種差別、虐殺、戦争、環境破壊といった、人類の歴史に刻まれた悲劇を今に伝える場所も数多く存在します。こうした「負の世界遺産」を訪ね、歴史の悲劇と向き合う旅は「ダークツーリズム」と呼ばれます。それは、同じ過ちを二度と繰り返さないための学びの場であり、「平和と公正が全ての人々に等しく享受されるべきである」という認識を世界で共有するための大切な手段でもあります。

JICA が支援する開発途上国には、まさにこうしたダークツーリズムの拠点となる世界遺産が数多く点在しています。今回は、それらを7つのカテゴリに分けてご紹介しましょう。

Many World Heritage sites serve as reminders of human tragedy—from the slave trade and colonialism to war and environmental destruction. Visiting such sites as part of Dark Tourism helps us learn from past mistakes and promotes peace and justice for all. In this issue, we introduce key Dark Tourism sites in developing countries across seven categories.

1. 奴隷貿易 The Slave Trade

——人間が「商品」とされた時代

15世紀以降、世界各地で大規模な奴隷貿易が行われ、数多くの人々が故郷から引き離され、自由と尊厳を奪われました。大西洋奴隷貿易の拠点となったセネガルのゴレ島には奴隷収容所などの遺構が残り、人類史の悲劇を今に伝えています。また、小説『ROOTS/ルーツ』で知られるガンビアのクンタ・キンテ島と関連遺跡群や、カーボベルデのシダーデ・ヴェーリャも、奴隷の集積・交易の重要な拠点でした。一方、東アフリカ沿岸では、タンザニアのストーン・タウンやモザンビーク島などを經由して、インド洋世界へ向けた大規模な奴隷貿易のネットワークが形成されました。さらに19世紀の南太平洋では、フィジーのレブカが「ブラックバーディング」と呼ばれる強制的な人身移送の拠点となりました。奴隷貿易は世界各地に広がり、多くの人々の人生と社会に深い傷を残しています。

From the 15th century onward, millions were forcibly taken from their homes and deprived of their freedom and dignity. Sites across Africa and the Pacific bear witness to the global history and lasting legacy of the slave trade.

2. 植民地支配 Colonial Rule

——土地と人々を支配した歴史

大航海時代以降の西欧諸国による植民地支配は、土地や資源、人々の労働力を本国や植民地経営者の利益のために組み込み、現地を経済的に支配する仕組みを築いていきました。アメリカ大陸における最初のヨーロッパ人入植地であるドミニカのサント・ドミンゴは、スペインによるカリブ海統治の拠点となりました。サ

ントメ・プリンシペのロサ群では、奴隷労働を活用した植民地農業システムが築かれ、キューバ南東部のコーヒー農園発祥地の景観には、コーヒーの生産・加工・輸出を支えたシステムが残っています。さらに、パナマの地峡横断ルートは、植民地と本国を結び、物や人、情報を動かすグローバルな通信・交易システムとして機能しました。一方、コスタリカのディキスの石球が物語るように、植民地化やその後の経済開発は、先住民が暮らしてきた土地のあり方や文化遺産にも影響を及ぼしました。



Colonial powers reshaped lands, resources, labor, and trade to serve their own interests. Historic sites across the Americas, Africa, and beyond reveal the lasting impact of colonial rule on people, communities, and cultural heritage.

3. 人為的災害と環境破壊 Environmental Destruction

——人間の活動が残した環境への爪痕

ボリビアのポトシは、16世紀のスペイン支配下で世界最大級の銀山として栄えました。大量の銀を精錬するために水銀が使われ、土壌や河川の汚染を引き起こしたほか、鉱山では先住民やアフリカ系の人々が過酷な労働を強いられました。何世紀にもわたる採掘によって、街の象徴であるセロ・リコ（富の山）は大きく姿を変え、現在も崩落の危険にさらされています。

マーシャル諸島のビキニ環礁核実験場では1946年から1958年にかけて、アメリカによる23回の核実験が行われました。美しいサンゴ礁は放射能に汚染され、島民は故郷を離れることを余儀なくされました。70年以上が経った今も、故郷の島に戻って暮らすことのできない人々がいます。

Mining, nuclear testing, and other human activities have left lasting scars on people and the environment. Potosi and Bikini Atoll remind us of the long-term consequences of exploiting both people and nature.



大仏が破壊されました。シリアのパルミラ遺跡でも、ベル神殿やバアルシャミン神殿、記念門が相次いで破壊されました。遺跡の破壊は、そこに刻まれた歴史や文化、人々の記憶をも消し去ることにつながります。

The destruction of the Bamiyan Buddhas and parts of Palmyra's ancient ruins shows how cultural heritage can become a target of intolerance and conflict.



4. 差別と人権侵害 Discrimination and Human Rights Abuses ——「違い」を理由に奪われた人権

世界には、人種や民族、文化、宗教などの違いを理由に、人々が差別され、排除された歴史を伝える「負の遺産」があります。南アフリカのロベン島には、アパルトヘイト政策のもとでネルソン・マンデラ氏に多くの政治犯が収監された歴史が刻まれています。現在は、自由と民主主義、そして和解への歩みを伝える場所となっています。ボスニア・ヘルツェゴビナには、1990年代の紛争と民族対立の記憶を伝える橋があります。小説『ドリナの橋』の舞台として知られるヴィシェグラードのソコルル・メフメト・パシャ橋は民族浄化の記憶と結びつき、モスタル旧市街の古橋は1993年の戦闘で破壊された後に再建され、現在は民族・宗教を超えた共存と和解の象徴となっています。
Sites such as Robben Island and the bridges of Bosnia and Herzegovina bear witness to discrimination, persecution, and ethnic conflict—and to the long struggle for freedom, coexistence, and reconciliation.

5. 文化的クレンジング Cultural Cleansing ——消される文化、奪われる記憶

異なる文化や思想への不寛容やイデオロギーの対立から、「異文化の象徴」とされる遺跡が意図的に破壊されることがあります。アフガニスタンのバミヤン渓谷では、2001年、タリバンによってバミヤンの

6. ジェノサイド Genocide ——命を奪われた人々の記憶

1948年、国連はジェノサイド条約を採択し、集団の破壊を目的とするジェノサイドを国際法上の犯罪と定めました。それにもかかわらず、その後も集団虐殺は繰り返されました。カンボジアのトゥール・スレン虐殺博物館や、ルワンダ虐殺の記憶をとどめるニャマタ、ムランビ、ギソジ、ビセセロなどの施設群は、その悲惨な歴史を今に伝えています。

Despite the international prohibition of genocide, mass killings have continued. Memorial sites in Cambodia and Rwanda preserve the memory of the victims and the horrors they endured.

7. 20世紀の戦争 20th-Century Wars ——戦争が人々と社会に残した傷

20世紀には、世界各地で大国の対立や国家間の戦争が繰り返され、多くの人々がその犠牲となりました。かつてコンゴ王国の首都として栄えたアンゴラのムバンザ・コンゴは、20世紀後半、米ソ冷戦の「代理戦争」ともいわれるアンゴラ内戦の舞台となり、周辺には今も地雷が残されています。ラオスのヴィエンサイの洞窟群では、ベトナム戦争の激しい空爆から逃れるため、多くの人々が洞窟内で暮らしました。戦争は戦場だけでなく、人々の暮らしや社会に長く消えない傷を残しています。

Wars and conflicts in the 20th century left lasting scars on people and societies. Mbanza Kongo and the Viengxay Caves remind us that the impact of war extends far beyond the battlefield.

世界遺産を訪れるとき、私たちは「何が美しいか」だけでなく、「この場所で何が起きたのか」「なぜ、今もこの歴史が語り継がれているのか」に目を向けることも大切です。過去を知ることが、現在の世界を理解し、これからの平和や公正について考えることにもつながるのです。

JICA 沖縄図書資料室では、開発途上国の文化遺産・自然遺産を紹介する図書資料を数多く取り揃えています。秋の観光シーズンを前に、次に訪れてみたい場所を探すだけでなく、その土地が歩んできた歴史にも目を向けてみませんか。来室をお待ちしております。

When visiting these sites, we must look beyond their beauty to understand what happened there and why their history matters today. Learning about the past allows us to reflect on a more peaceful and just future. The JICA Okinawa Library offers a wide range of books on the cultural and natural heritage of developing countries. This autumn, why not look beyond your next destination and explore its history? We look forward to your visit!



参考資料

- 『悲劇の世界遺産 ダークツーリズムから見た世界』、井出 明 (著)、文藝春秋(文春新書)、2021。
- 『負の世界遺産』、佐倉由美子・常井宏平・長谷川大、洋泉社(洋泉社MOOK)、2013。
- 『世界遺産 ユネスコ事務局長は訴える』、松浦晃一郎(著)、講談社、2008。



新しい資料が入りました
New Arrivals!

日：日本語 Japanese
ENG：英語 English
VIE：ベトナム語 Vietnamese
J：JICA 発行物 JICA publication
◆：購入 Purchased
☆：寄贈 Donation

●JICA

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
1	Introduction to Quality Growth Concept, Theoretical Background, Policy and Measurement	Koki Hirota/edited by Springer Nature Link	J/333.8/HK (2026)	ENG	☆
2	JICA 海外協力隊（連携派遣）ご利用 団体インタビュー USER INTERVIEW JICA 海外協力隊 連携派遣のご案内 いつか世界を変える力になる	独立行政法人国際協力機構(JICA)	J/333.88/JICA	日	J
3	2025 年度 JICA 九州 教師海外 研修 報告書 研修国：ベトナム	独立行政法人国際協力機構 九州センター(JICA 九州)	J/375/KIC/2025 (2026.3)	日	J
4	2025 年度 高校生国際協力実体験 プログラム 報告書 2025 年（令和 7 年）7 月 24 日～ 7 月 25 日	独立行政法人国際協力機構 九州センター(JICA 九州)	J/375.3/KIC/2025 (2026.2)	日	J
5	関西の未来をひらく 協力隊経験 のチカラ 日本も元気にする JICA 海外協力隊 世界を元気に した人は、日本も元気にできる！	独立行政法人国際協力機構(JICA)関西センター	JK/333.88/KSIC (2026.3)	日	J

●Books

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
1	不正義の克服 アマルティア・セン『正義のアイ デア』を本音で読み解く	池本 幸生/著 明石書店	158/IY (2025.5)	日	◆
2	図鑑 アフリカ全史	DK 社/著 東京書籍	240/DK (2025.9)	日	◆
3	植民地から建国へ 19 世紀初頭まで シリーズアメリカ合衆国史①	和田 光弘/著 岩波書店	253.03/WM (2019.4)	日	☆
4	満州引揚げ少年、ブラジル移民と なる	加藤 仁紀/著 藤原書店	289.1/KY (2025.4)	日	◆
5	Passeport pour le Togo Welcome to Togo	OFFICE NATIONAL TOGOLAIS DU TOURISME	294.4/OF (2019.1)	ENG	☆

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
6	一九八四+四〇ウイグル潜行	西谷 格/著 小学館	302.228/NT (2025.8)	日	☆
7	池上彰が読む「イスラム」世界 知らないと恥をかく世界の大大問題 学べる図解版 新版	池上 彰/著 KADOKAWA	302.27/IA (2025.10)	日	◆
8	ラマダーン World library ; アラブ首長国連邦	ファーティマ・シャラフェ ッディーン/著 ワールドライブラリー	302.27/SF (2024.2)	日	◆
9	ミャンマー、優しい市民はなぜ武器 を手にしたのか	西方 ちひろ/著 ホーム社 (発売集英社)	312.238/NC (2025.9)	日	◆
10	学校では教えてくれない差別と排 除の話 新版	安田 浩一/著 皓星社	316.81/YK (2025.9)	日	◆
11	イランとアメリカ、そしてイスラ エル 「ガザ以後」の中東	高橋 和夫/著 朝日新聞出版	319.272053/TK (2026.3)	日	◆
12	取るに足らないものたちの民族誌 チリにおける開発支援をめぐる人 類学	内藤 順子/著 春風社	333.866/NJ (2023.2)	日	◆
13	ニッポンの移民 増え続ける外国人とどう向き合うか	是川 タ/著 筑摩書房	334.41/KY (2025.10)	日	◆
14	外国にルーツのある子どもが知っ てほしいこと 私の声をきいて 1	吉富 志津代/監修 中央法規出版	334.41/YS (2025.5)	日	◆
15	ロッキー山脈の向こうへ カナダに渡った日系移民家族一〇 〇年の物語	桐江 キミコ/著 高文研	334.451/KK (2026.2)	日	◆
16	5 つのストーリーで学ぶ外国人雇 用 異文化理解と在留資格、資格 外活動も	横山 仁/著 日本法令	336.42/YJ (2025.11)	日	◆
17	女性の世界地図 女たちの経験・現在地・これから	ジョニー・シーガー/著 明石書店	367.1/SJ (2020.10)	日	◆
18	タリバンの世界 秘密学校の少女たち	川上 珠実/著 毎日新聞出版	367.2271/KT (2026.3)	日	◆
19	アラブの女性解放論	カーシム・アミン (Qāsim Amīn) /著 法政大学出版局	367.242/AQ (2024.6)	日	◆
20	国際教育協力論集 Journal of International Cooperation in Education 第 28 巻 第 1 号	広島大学教育開発国際協 力研究センター	370/CICE/28-1 (2025.10)	日 ENG	☆
21	祭りから読み解く世界	山田 孝子/編 英明企画編集	386/YT (2018.6)	日	◆

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
22	世界の猫の民話	日本民話の会/編訳 筑摩書房	388/NI (2017.1)	日	☆
23	世界の馬 伝統と文化	Susanna Cottica/著 緑書房	645.2/CS (2019.5)	日	◆
24	猫の世界史	キャサリン・M・ロジャーズ/著 エクスナレッジ	645.7/RK (2018.3)	日	☆
25	うみのいきものかくれんぼ これなあに?かたぬきえほん, 8	いしかわ こうじ/作 ポプラ社	726.6/IK (2012.6)	日	☆
26	ブショーのおはなし World library ; ハンガリー	タカーチ・ビクトリア/作 ワールドライブラリー	726.6/VT (2025.11)	日	◆
27	アフリカから来たランナーたち 箱根駅伝のケニア人留学生	泉 秀一/著 文藝春秋	782.7/IH (2025.12)	日	◆
28	水脈を聴く男	ザフラン・アルカースイミー/著 書肆侃侃房	929.763/AZ (2025.5)	日	◆

●Okinawa

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
1	三原区 100 年のあゆみ 三原区創設百周年記念誌	三原字誌作成委員会（委員長；浦島 悦子）/編集 名護市三原区事務所	K/219.9/MI (2026.3)	日	☆
2	語り、聞く 沖縄の戦世 戦中・戦後の生活史	沖縄タイムス社/編 みすず書房	K/281.99/OK (2026.6)	日	☆
3	新・沖縄 21 世紀ビジョン実施計画 (中期:令和 7 年度～令和 9 年度)	沖縄県	K/318/OK (2025.3)	日	☆
4	やんばるの健康問題 ピンチをチャンスに変えようよ！ ～看護学科の若手教員が考えるやんばるの強み～	清水 かおり/編 名城大学	K/377/ME/10 (2026.6)	日	☆
5	戦ぬ前ー沖縄文化の近代ー 沖縄戦後 80 年企画	大城 さゆり/編集 沖縄県立博物館・美術館	K/702.199/OS (2025.12)	日	☆
6	Bunagaya to heiwa no tane(ぶながやと平和のタネ) Ehon Bingata Okinawa	たいら みちこ/作・紅型染め絵 ベトナム女性出版社	K/726.6/TM (2025.6)	VIE	◆
7	Bunagaya to Yamazen oji(ブナガヤと山善オジー) Ehon Bingata Okinawa		K/726.6/TM (2025.6)		
8	Bunagaya no mita yume (ぶながやのみた夢) Ehon Bingata Okinawa		K/726.6/TM (2025.6)		

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
9	英雄の輪 HERO's ISLAND Another Story	真藤 順丈/著 講談社	K/913.6/SJ (2025.9)	日	◆
10	いくさ世を生きて 沖縄戦の女たち 新版	真尾 悦子/著 筑摩書房	K/916/ME (2025.5)	日	◆

●Magazines

No.	誌名 Title	巻次 No. 特集記事名 Features	出版者 Publisher	言語 Language	
1	JICA MAGAZINE = ジャイカ マガジン	2026 年 8 月号 特集 # 国際協力 ～人を育て 社会を支えるインフラ編～	国際協力機構(JICA)	日	J
2	国際開発ジャーナル = International Development Journal	2026 年 8 月号 AI は国際開発をどう変えるのか 現場から見える日本の可能性	国際開発ジャーナル社	日	◆
3	FOREIGN AFFAIRS	JULY/AUGUST 2026 WHO WILL WIN THE NEXT WAR?	The Council on Foreign Relations	ENG	◆
4	TIME	2026.7.17 THE BIG ROBOT MOMENT UNITREE'S WANG XINGXING WANTS TO BRING HIS 9-FT. TALL CREATION TO YOU BY CHARLIE CAMPBELL	TIME Magazine Singapore Pte.	ENG	◆
5		2026.7.27 EBOLA RETURNS HOW WE CAN FIGHT BACK			
6	月刊 NEWS がわかる	2026 年 8 月号 フィジカル AI がひらく未来	毎日新聞出版	日	◆
7		2026 年 9 月号 巻頭特集：深掘り！太陽光発電			
8	日経ビジネス	2026 年 07 月 13 日 新ガバナンス・コードの要諦 稼ぐための統治改革	日経 BP 社	日	◆
9		2026 年 07 月 20 日 日系ビジネス×日系クロスレッ ク 共同特集 ファーウェイの 逆襲 トヨタも車載 O S で頼る 半導体は TSMC に挑む			
10		2026 年 07 月 27 日 第 3 回 1 万 1000 人調査 IR 発 信力ランキング 2026 株高・AI 時 代、問われる経営者の「伝える 力」			

No.	誌名 Title	巻次 No. 特集記事名 Features	出版者 Publisher	言語 Language	
11	日経ビジネス	2026 年 08 月 03 日 MUFG、未完の王者 時価総額 1 位、AI 時代の金融進化論	日経 BP 社	日	◆
12		2026 年 08 月 10・17 日合併号 「EV 失速」の幻想 安さが世界を塗り替える			
13	日本貿易会月報	2026 年 7・8 月号	日本貿易会	日	☆
14	CNN English Express	2026 年 7 月号 電話、会議、プレゼン etc. 一流の伝え方が身につく ビジネス句動詞	朝日出版社	日 ENG	◆
15		2026 年 8 月号 少子高齢化、自然災害 etc. 英語で話せる！？ 日本の論点			
16		2026 年 9 月号 説得力アップ！7 つのコツで好印象 英語で自己 PR			
17	Hiragana times = ひらがなタイムズ	2026 年 8 月号 祭りで作られた国家、日本	ひらがなタイムズ	日 ENG	◆
18	Coralway : welcome to southern smile JTA	2026 年 7・8 月 特集 端っこの島へ 与那国島・波照間島の旅	日本トランスオーシャン航空	日	☆
19	オキナワグラフ	2026 年 8 月号 [特集]まじゅん！やんばる ジャングリア沖縄 1 周年	新星出版	日	◆

図書室資料室 開室カレンダー
JICA Okinawa Library Open Calendar

開室/Open : 月～土 (Mon - Sat) 10:00 - 18:00
休室/Close : 日曜・祝日 Sundays & National Holidays

9 月 September 2026						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10 月 October 2026						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

Thank you for joining! Kids Internship

in JICA Okinawa Library

- August 14 (Fri) 2026 -

